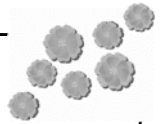




茜ヶ丘

舞鶴市立中舞鶴小学校
学校だより3月号
令和3年2月26日発行

<http://nakamaizuru.maizuru.ed.jp/>



本年度のしめくくりと次年度への展望を

寒さがほんの少しですが和らぎ、霧やもやのために遠くの間々がぼやけて見えたり、雲がたなびいたように見えることがあります。歳時記では、霧は秋の季語とされ、春にでる霧を「かすみ」、夜は「おぼろ」と呼ぶそうです。四季折々の変化に気付く機会が「新しい生活様式」の中で少しずつ増えてきたように感じます。

いよいよ令和2年度をしめくくる月となり、卒業式、修了式まで一ヶ月を切りました。

6年生は、中学校への進学にあこがれと希望をもちながら、小学校生活の総まとめと思いつくり余念がありません。

最高学年のバトンを受け取る5年生は、「6年生を送る会」の先頭に立って、大成功をおさめ、新児童会役員の立候補者も決まりました。さまざまな活動を通して、最高学年としての意識をさらに高め、よきリーダーとしてスタートラインに立とうとしています。

4年生、3年生、2年生、1年生、ひばり学級、どの学級の子どもたちもすくすくと伸びるつくしのよう、一つ一つの節をしっかりと固め、さらにもう一段伸びようと「やる気」をもってがんばっています。



次年度に向けて、舞鶴市の全小・中学校では「児童1人1台のコンピュータ (iPad: アイパッド)」と、「高速でインターネットにつながり、遅延のない大容量の通信網」の整備が進められています。本校の工事はほぼ完了し、教師用iPad (19台) やiPad充電庫 (各教室1台) が既に納入されました。児童用iPad (児童数分) もまもなく学校に届けられます。校内では授業での使い方や約束ごとなどについての会議や研修会を開き、4月からのスタートに備えています。

教師が準備した資料や教材をたよりに、黒板をノートにうつす学習ばかりではなく、子どもたち一人一人の学びに応じた資料や教材をデジタルで利用し、繰り返し学んだり、発展的な内容に触れたりする学習、ワープロや写真、音声、動画等を用いて自分の考えや意見を表現したり学んだことをまとめたりする学習、生活の中から課題を見付け、友だちと協力しながら粘り強く課題解決に取り組む学習など、創造性を育む学習がスムーズに実施できるようになります。来年度の参観日には児童一人一人がiPadを手にしながら生き生きと学習する姿を見ていただくことができるよう教職員一同、全力で取り組んでいます。

本年度のしめくくりと次年度への展望を確かなものにする3月を、一人一人がそれぞれに「がんばった」「よくやった」と言えるよう、充実した学校生活を送らせたいと思います。保護者、地域の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



校長 藤原 佳弘
教職員 一同